

注記

- 注 1. 「デザイン素材の調査研究」の収入は応募時期が翌期になった為、21 年度に発生する。
- 注 2. 「福岡市公共マップの作成」の収支の差異は、事業の拡大による。「公共交通機関のユニバーサルデザイン」の収入は韓国への著作権譲渡による。「open! architecture マップ作成」、「関東ネオン 50th 記念シンポジウム講師派遣」、「医療看護支援ピクトグラムの開発」、「大洲市モニュメント・サイン」、「富山県屋外広告物許可基準」の差異は、事業の受託受注による。
- いづれも、収入と支出の予算額が、ほぼ同額なので、予算の補正は行われなかった。
- 注 3. 九州地区の収支増加は、総会、シンポジウム等の拡大による。
- 注 4. 「プロフェッショナル講座」は調整に時間を要している為、21 年度に繰り越す。
- 注 5. 「案内用図記号の開発」は、今年度は、事業の受託がなかった為、当期は発生していない。
- ただし、収入は、交通エコロジー・モビリティ財団のラウンドロビンテスト委員手当てによる。
- 注 6. 北海道地区の活動は、活動費の支出には至らなかった。
- 注 7. 「インターネットの推進」の支出の増加は、ホームページのリニューアルの拡大による。
- 注 8. 「予備費」は「インターネットの推進」に充当された。